

# Europe Indicators

発表日:2020年5月26日(火)

## 欧州経済指標コメント:5月ドイツIfo企業景況感

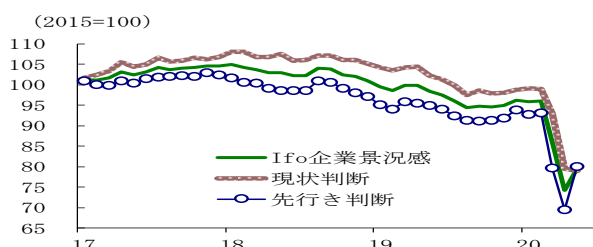
～都市封鎖解除で先行きの業況が改善～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理(Tel:03-5221-4527)

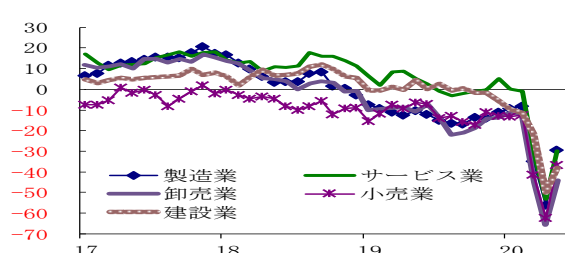
- ウイルスの感染拡大防止を目指した都市封鎖の影響で、3月と4月に2ヵ月連続で史上最低を更新したドイツのIfo企業景況感(2015年=100の指数)は、25日に発表された5月計数が79.5と前月から5.3ポイント改善したが、過去2ヵ月の落ち込み(合計で21.8ポイント)の4分の1程度を取り戻すにとどまった。内訳は、前月に急落した現状判断(前月:前月差▲13.5ポイント→今月:同▲0.5ポイント)が小幅ながら一段と低下した一方、前月に史上最低を大幅に更新した先行き判断(同▲10.3ポイント→同+10.7ポイント)が切り返し、前月分を取り戻した。
- 業種別の業況判断(ゼロが好不況の分岐点)は、現状判断がサービス業(▲12.7→▲11.6)、卸売業(▲25.7→▲19.2)、小売業(▲40.2→▲18.0)でマイナス幅が縮小した一方、製造業(▲31.9→▲42.9)のマイナス幅が拡大し、建設業(+21.4→+18.6)のプラス幅が縮小した。段階的な活動制限緩和の影響で内需関連が持ち直したものの、海外景気低迷の影響が響き、製造業の業況悪化が続いた。先行き判断は、製造業(▲56.1→▲29.5)、サービス業(▲53.2→▲29.9)、卸売業(▲65.7→▲44.0)、小売業(▲62.3→▲36.5)、建設業(▲49.9→▲38.3)のマイナス幅が揃って縮小。4月をボトムに先行きの業況改善を見込んでいる。
- 同日発表された1-3月期の実質GDP成長率の確報値は、速報値から不変の前期比▲2.2%。新たに発表された需要項目別の詳細は、政府消費(同+2.2%)、建設投資(同+4.8%)が大きく増加した一方、個人消費(同▲2.2%)、設備投資(同▲9.2%)、輸出(同▲3.2%)、輸入(同▲1.7%)が大幅に落ち込んだ。在庫投資(同寄与度▲0.3%ポイント)と純輸出(同▲0.9%ポイント)が何れも成長率の押し下げ要因となった。

■ドイツ:Ifo企業景況感



出所:Ifo

■ドイツ:業種別の先行きの業況判断



出所:Ifo

■ドイツIfo企業景況感

	2019				2019					2020				
	2Q	3Q	4Q	1Q	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
企業景況感(総合)	98.7	95.1	95.2	92.6	94.8	94.6	94.9	96.2	95.9	96.0	86.0	74.2	79.5	
現状指数	102.7	98.7	98.3	97.0	98.7	97.9	98.1	98.8	99.1	98.9	92.9	79.4	78.9	
先行き指数	94.8	91.7	92.3	88.6	91.1	91.4	91.8	93.8	92.8	93.2	79.7	69.4	80.1	
業況判断	15.7	8.0	8.2	-	7.3	6.7	7.5	10.4	9.6	9.8	-12.0	-37.7	-26.2	
製造業	3.7	-5.4	-5.7	-7.3	-6.5	-5.6	-6.4	-5.2	-1.7	-1.8	-18.4	-44.5	-36.4	
サービス業	23.7	16.5	18.5	9.5	17.1	16.8	17.4	21.4	18.8	17.3	-7.6	-34.2	-21.0	
卸売業	7.3	-4.5	-3.6	-6.1	-6.9	-6.1	-2.4	-2.3	2.0	0.9	-21.2	-47.0	-32.0	
小売業	6.8	3.8	3.7	-5.8	2.3	1.4	5.4	4.3	1.4	1.1	-20.0	-51.7	-27.5	
建設業	23.8	22.1	19.2	9.9	21.7	20.3	19.8	17.6	12.9	12.2	4.7	-17.7	-12.0	

出所:Ifo

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

